

令和元年度事業における地域公共交通確保維持改善に関する
自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成 19 年 4 月 1 日設置

フィーダー系統 平成 30 年 6 月 28 日 確保維持計画策定等
(平成 30 年 10 月 30 日付け変更)

【コミュニティバス導入背景】

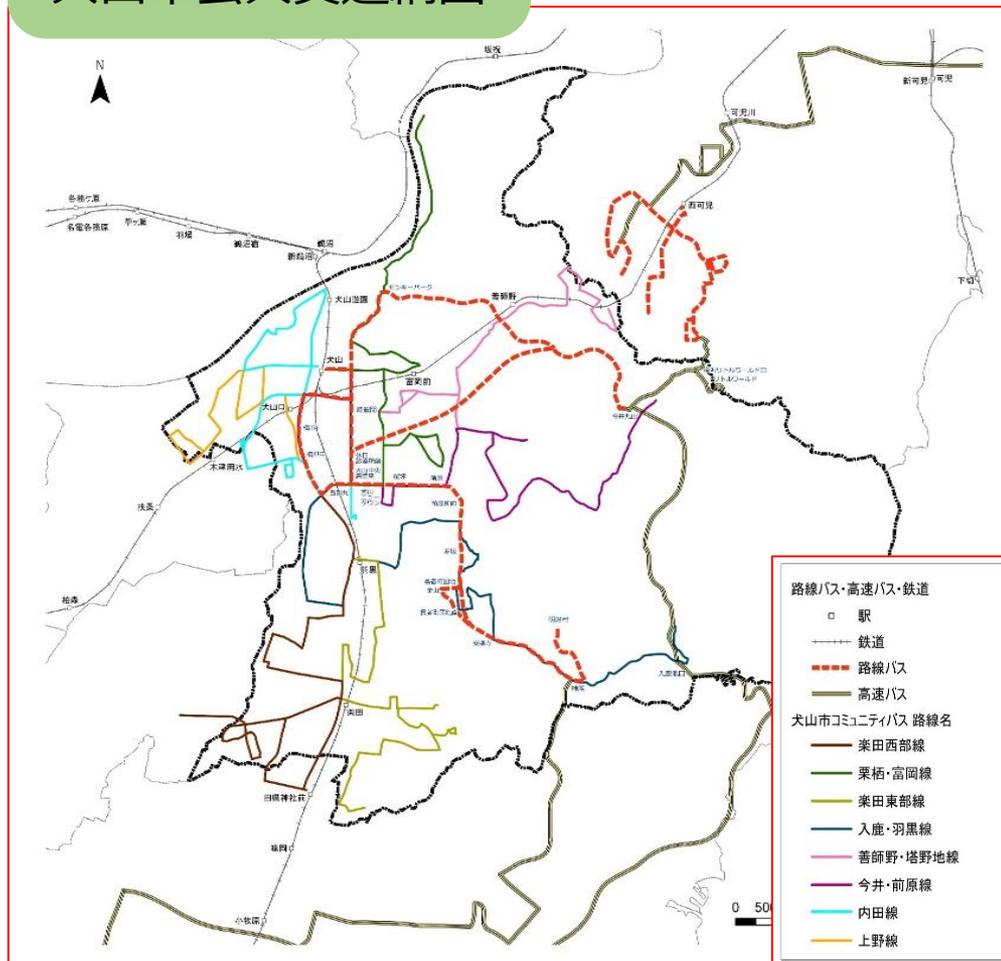
利用者減少に伴う民間事業者の路線バス事業撤退を背景に、交通空白地に居住する交通弱者などに対する移動サービスとして平成12年から運行を開始した。

【本市の目指す姿・方向性】

第5次犬山市総合計画に基づき、効率的、効果的なコミュニティバスの運行により交通空白地の解消と安心して利用できる移動手段の確保を目指している。

また、都市計画マスタープランに基づき、「いつまでも暮らし続けたい都市」を目指すべく、バス交通の利便性を向上させ、多様な都市機能が充実した犬山駅、羽黒駅、楽田駅等の主要鉄道駅周辺と民間の路線バスやコミュニティバス等の公共交通を接続し、ネットワーク化を目指している。

犬山市公共交通網図



【取組み①】運行日数の増加

従来は曜日運行（5台8路線）を行っていたが、車両を増やし全路線平日毎日運行（8台8路線）とし、運行日数を増やした

再編前 週2～4日

- 栗栖線（月・火・金）
- 上野線（月・水・金）
- 今井・前原線（火・水・木・金）
- 楽田東部線（月・水・木）
- 善師野線（火・水・木・金）
- 内田線（火・木）
- 楽田西部線（月・火・金）
- 池野・長者町線（月・水・木）

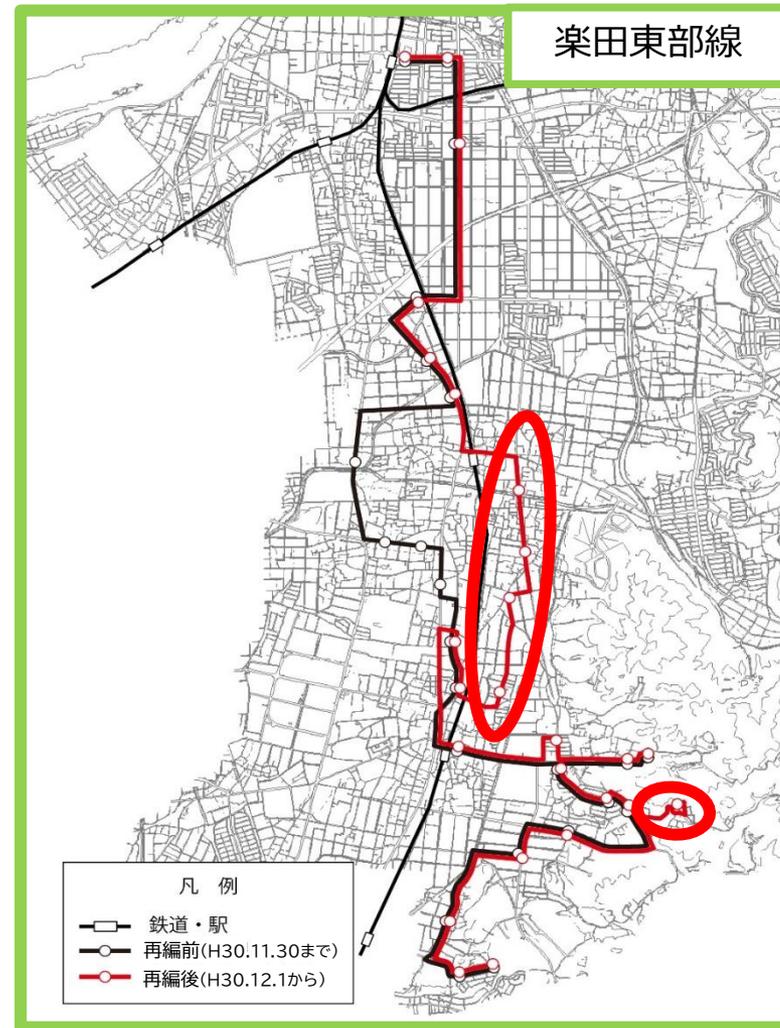
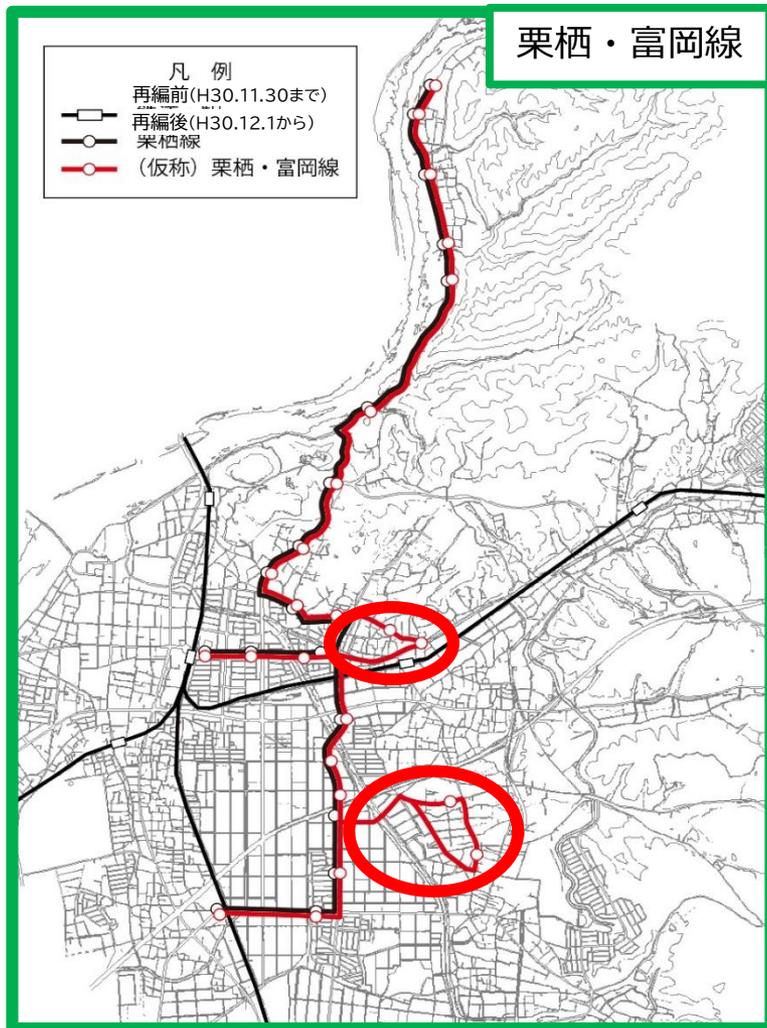
再編後 全路線平日毎日（祝日含む）

- 栗栖・富岡線
- 上野線
- 今井・前原線
- 楽田東部線
- 善師野・塔野地線
- 内田線
- 楽田西部線
- 入鹿・羽黒線

月曜日～金曜日

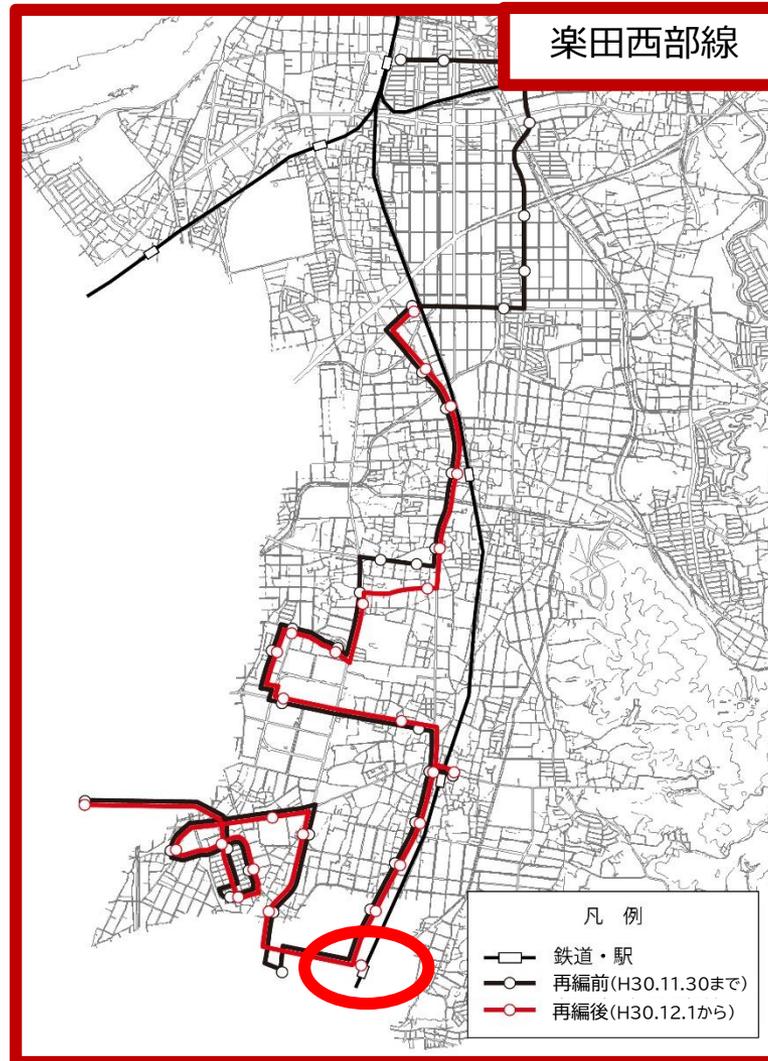
【取組み②】路線の再編

道路が狭く従来のバスでは運行できなかった地域をカバーするため、小型車両を導入し新規利用者の開拓を図った



【取組み③】 鉄道駅との接続

名古屋鉄道小牧線「田県神社前駅」駅前ロータリー（小牧市内）にバス停を新設し鉄道駅との接続を図った。



【取組み④】 犬山市産業振興祭におけるコミュニティバス展示

日	時	平成30年10月13日(土)、14日(日)	午前10時～
場	所	するすみふれあい広場	
内	容	犬山市産業振興祭の会場にコミュニティバスを展示し、乗車体験などを通してコミュニティバスの利用促進を図ったとともに、新運行のPRを実施した。 両日合わせ過去最高の350名以上にご来場いただいた。	



【取組み⑤】 新型車両お披露目会

日 時 平成30年11月29日(木) 午後2時～
 場 所 犬山市役所西駐車場
 内 容 新運行の成功を祈念するとともに、新型車両を公開し、広報・マスコミ等を通して広くPRを行った。



新聞にも取り上げていただきました

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：平成30年度実績30,993人となり目標を達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数 90,000人以上 (H30.10.1～R1.9.30)

補助対象路線名	目標値 (人)	結果 (人)	達成の状況
栗栖・富岡線	12,000	14,881	○ (達成率：124%)
上野線	13,000	14,699	○ (達成率：113%)
今井・前原線	21,000	23,044	○ (達成率：110%)
楽田東部線	8,000	6,617	× (達成率：82.7%)
善師野・塔野地線	15,000	18,261	○ (達成率：122%)
内田線	5,000	10,041	○ (達成率：201%)
計	67,600	87,543	○ (達成率：130%)

補助対象外路線名	昨年実績 (人)	結果 (人)	達成の状況
楽田西部線	12,000	9,039	× (達成率：75.3%)
入鹿・羽黒線	7,000	18,602	○ (達成率：266%)
総計	90,000	115,184	○ (達成率：128%)

結果：年間利用者数115,184人 (達成率：128%) となり、目標を達成

【課題】

- ① 再編前は5台8路線による曜日運行(週2~4日)を行っていたが、利用者からは毎日運行を望む声が多かったため、車両を3台増車し、8台8路線による全路線平日毎日運行(週5日)を実現した。結果、利用者数は増加し、収支率も改善したが、再編後の利用者の満足度が不明である。
(バス運行開始以後、利用者の満足度調査を実施していなかった)
- ② 道路が狭く従来の車両では運行できなかった地域に小型車両を導入し、新たに路線を新設することで交通空白地の解消を図ったが、小型車両であるため満車になる便もあり、バスに乗車できない利用者がある。
(現状はお断りしている)

【対応】

- ① バスの再編が成功したかどうかをはかる指標の一つとして、利用者満足度は必要であると考え。利用者満足度を(継続的に)確認するためにも、利用者アンケートを実施する。
- ② 満車で乗車できなかった利用者を目的のバス停まで輸送するため、タクシー車両を活用した追車対応スキームを確立する。

平成31年度事業における地域公共交通確保維持改善に関する
自己評価概要（経緯）

犬山市地域公共交通会議

平成19年4月1日設置

フィーダー系統 平成30年6月28日 確保維持計画策定等
(平成30年10月30日付け変更)

直近の第三者評価委員会における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 課題と対応方針において、2カ年同じ内容（網形成計画の策定）が記載されていた。解決する方向で進めて欲しい。 ● 市の方向性を積極的に示すべき。 ● 網形成計画の策定の是非も踏まえ、会議メンバーで合意形成を行うことが重要。 	<p>網形成計画の策定については、策定予定である立地適正化計画との連携が非常に重要であると考えます。 立地適正化計画を踏まえ、公共交通網形成計画の策定を検討する。</p>	<p>市の都市マスタープランや総合計画、立地適正化計画を所管する部局との連携を深め、関連する計画との整合を図る形で地域公共交通網形成計画の策定を目指す。（策定年度は未定）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 増車・増便することにより利用者が増えることは当然。収支がどうなるかも併せて検証すべき。 	<p>再編前における収支率は12.3%であり、再編後は13.9%であった。（1.6%改善）</p>	<p>収支率については継続的に確認する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 岐阜バスの明治村線は生活路線としての性格もあるので、生活利用がどのくらいあるのかを把握しておくが良い 	<p>岐阜バス明治村線について、乗降客数データの提供を依頼した。（生活利用についての数値は分析中）</p>	<p>今後も継続して岐阜バスの生活利用者数を把握し、持続可能な公共交通の維持・継続を図る。</p>

【路線図兼時刻表の見直し】

②折りたたんだ状態



従来の路線図兼時刻表を大幅に見直し改善を図った。

- ① A 2サイズからB 2サイズへ拡大 (122.6%拡大)
- ② 折り方を変更 (さらに持ち運びしやすい形態へ変更)
- ③ 乗降方法を写真付きで紹介
- ④ 医療機関 (医院・病院) の一覧を路線図へ掲載



③乗降方法 (写真付き)

犬山市コミュニティバス時刻表

路線	時刻	乗降方法	医療機関
東田東部線	7:00	乗降方法	東田東部線 1
東田東部線	7:30	乗降方法	東田東部線 2
東田東部線	8:00	乗降方法	東田東部線 3
東田東部線	8:30	乗降方法	東田東部線 4
東田東部線	9:00	乗降方法	東田東部線 5
東田東部線	9:30	乗降方法	東田東部線 6
東田東部線	10:00	乗降方法	東田東部線 7
東田東部線	10:30	乗降方法	東田東部線 8
東田東部線	11:00	乗降方法	東田東部線 9
東田東部線	11:30	乗降方法	東田東部線 10
東田東部線	12:00	乗降方法	東田東部線 11
東田東部線	12:30	乗降方法	東田東部線 12
東田東部線	13:00	乗降方法	東田東部線 13
東田東部線	13:30	乗降方法	東田東部線 14
東田東部線	14:00	乗降方法	東田東部線 15
東田東部線	14:30	乗降方法	東田東部線 16
東田東部線	15:00	乗降方法	東田東部線 17
東田東部線	15:30	乗降方法	東田東部線 18
東田東部線	16:00	乗降方法	東田東部線 19
東田東部線	16:30	乗降方法	東田東部線 20
東田東部線	17:00	乗降方法	東田東部線 21
東田東部線	17:30	乗降方法	東田東部線 22
東田東部線	18:00	乗降方法	東田東部線 23
東田東部線	18:30	乗降方法	東田東部線 24
東田東部線	19:00	乗降方法	東田東部線 25
東田東部線	19:30	乗降方法	東田東部線 26
東田東部線	20:00	乗降方法	東田東部線 27
東田東部線	20:30	乗降方法	東田東部線 28
東田東部線	21:00	乗降方法	東田東部線 29
東田東部線	21:30	乗降方法	東田東部線 30

④医療機関 (医院・病院) の一覧 (路線図上に番号で表記)

【バス停留所標識の見直し】

時刻・バス停名など、バス停留所標識に記載する情報（文字）を、従来の約2倍にすることで、利用者の利便性向上を図った。

